

子どもたちの未来を支える『土の家』が完成 — クラウドファンディングで実現した再生プロジェクト

バーンロムサイの「土の家」の大規模修繕が、この度無事に完了し、完成を祝うタイ式の竣工式典が執り行われました。



クラウドファンディング開始～目標達成

チェンマイ郊外で、HIV に母子感染した子どもたちの生活と自立を支援する施設としてスタートしたバーンロムサイでは、その活動を支える事業の一つとして宿泊施設「リゾート ホシハナ」を運営しています。その象徴的な宿泊棟が、土や自然素材を用いて建てられた「土の家」です。しかし長年にわたる風雨の影響で屋根や水回りなどの老朽化が進み、大規模な修繕が必要な状態となりました。

2025 年 10 月、修繕実現へ向けたクラウドファンディングを開始。活動報告では、HIV への偏見が強く、子供たちが公共のプールに遊びに行けなかった時代に造られたプールのことや、そのプールが映画『プール』のロケ地となった逸話など、バーンロムサイとホシハナが歩んできた歴史も紹介されました。

土の家への支援の輪は着実に広がり、開始 1 週間で 44%、約 1 か月で 60%を達成。支援金だけでなく、多くの応援メッセージや情報拡散に支えられながらプロジェクトは前進し、12 月には当初目標額 263 万円を達成しました。

ネクストゴール達成まで

目標達成後は、同じく老朽化している子供たちのトイレやコミュニティスペースの修繕費などを対象としたネクストゴールを設定。さらなる支援が集まり、プロジェクト終了直前の 12 月 24 日にネクストゴールも達成しました。最終的に 176 名から 343 万 4 千円の支援が寄せられました。

改修工事の歩み

クラウドファンディング終了後、設計図の作成や行政手続きを経て、2026 年 3 月に改修工事の許可を取得。4 月より、既存浴室の解体工事から着手し、土の家ならではの雰囲気を残しながら、耐久性・安全性の向上が図られました。その後、屋根工事、内装改修、水回りの刷新を進め、7 月には、内外壁の塗り直しや水回りの改修を含む全工事が完了し、土の家は新たな姿で生まれ変わりました。



こうして多くの支援者の想いと現地スタッフの努力によって再生した土の家。その完成を祝うタイ式の竣工式典が、先日執り行われました。



A collage of five photographs showing a group of people participating in a traditional Japanese tea ceremony (chawanabe) outdoors. The photos show people preparing tea, serving it, and drinking it in a natural setting.